



川場村議会広報

通巻第59号

田園理想郷 時代

No. 4
2020.5.1

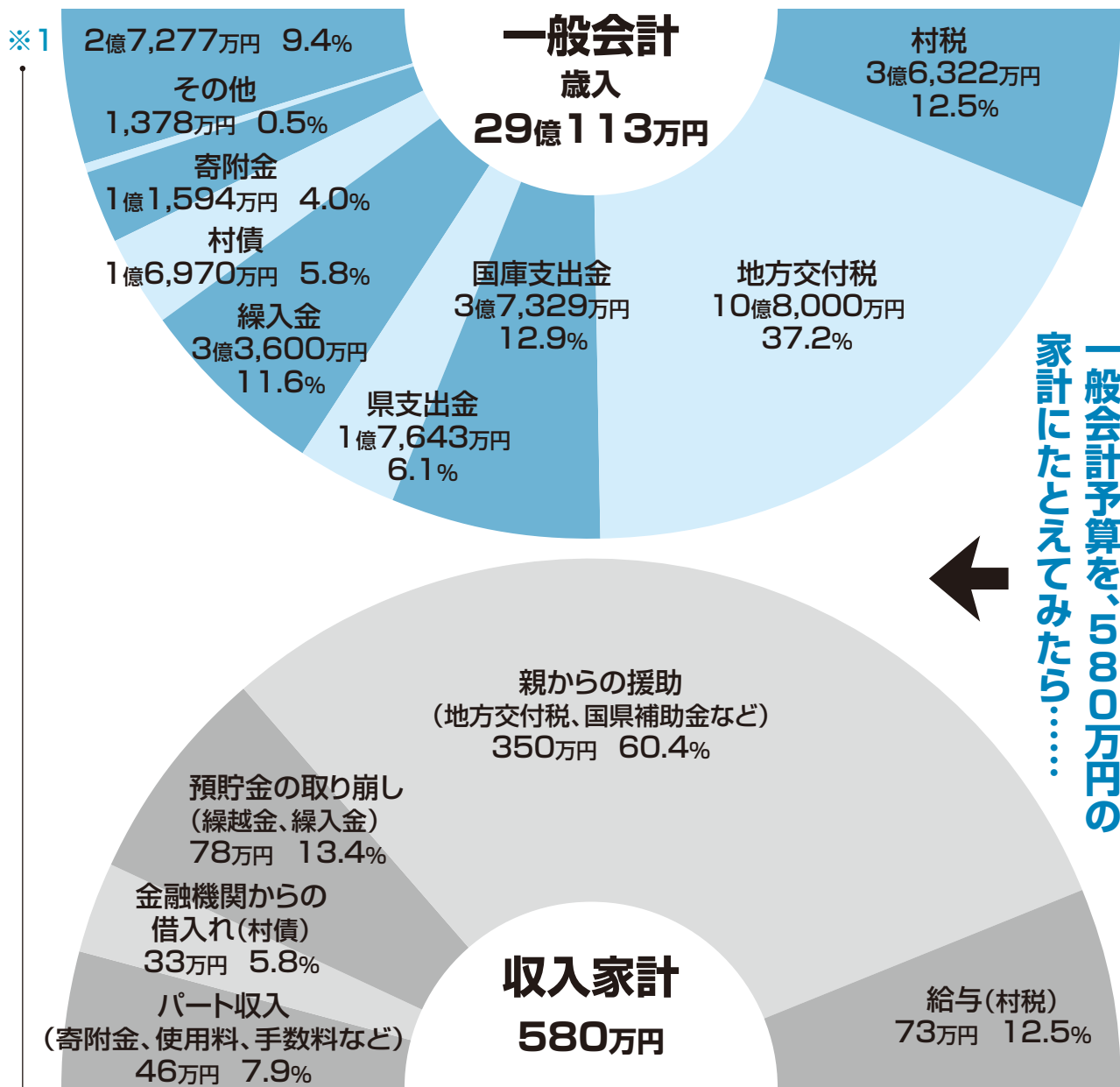
てんぐ山公園には野球場のほか、バーベキュー場やテニスコートなども整備されている。周囲の新緑は見応えがある。



第1回議会 3月定例会	2~5
予算審査特別委員会	6~9
一般質問	10~11
議会議員県外視察研修	12~13
議会の動き	13
全員協議会	14
村や議会のこんなことあんなこと	15
ほいす・お知らせ・編集後記	16

令和2年度 当初予算を可決

令和2年度一般会計予算の総額は、29億113万円で、前年度対比5.7%の減額、特別会計5件の総額は、12億5,670万2千円で前年度比10.2%の増額となっています。



※1 内訳

地方譲与税	4,710万円	繰越金	5,204万円
地方消費税交付金	6,200万円	諸収入	4,463万円
使用料及び手数料	6,701万円		

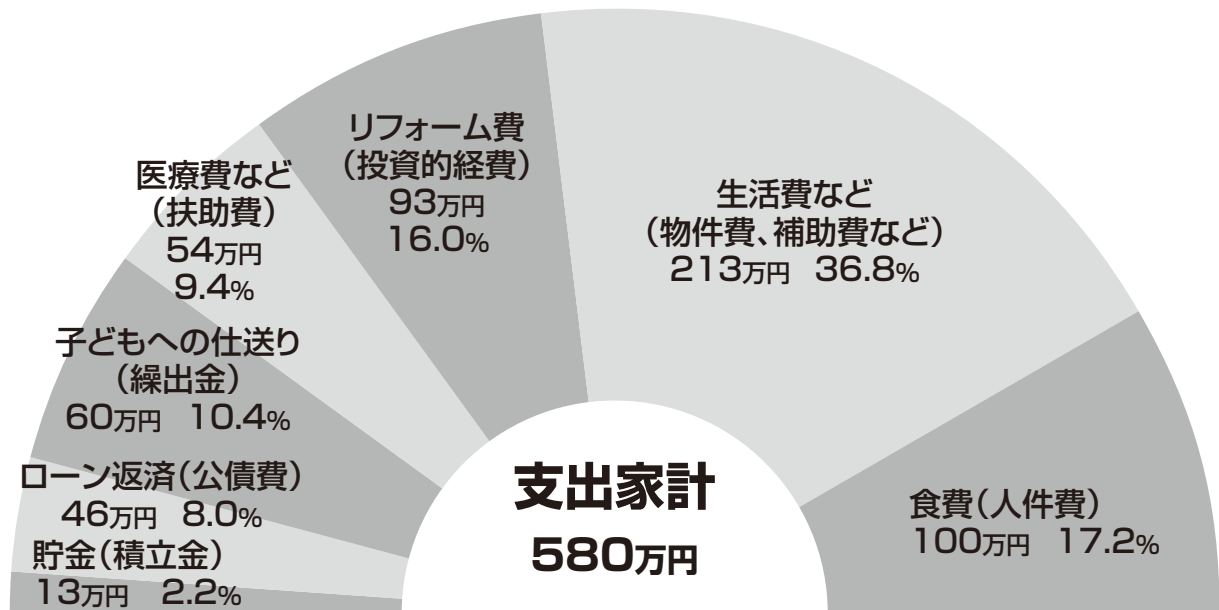
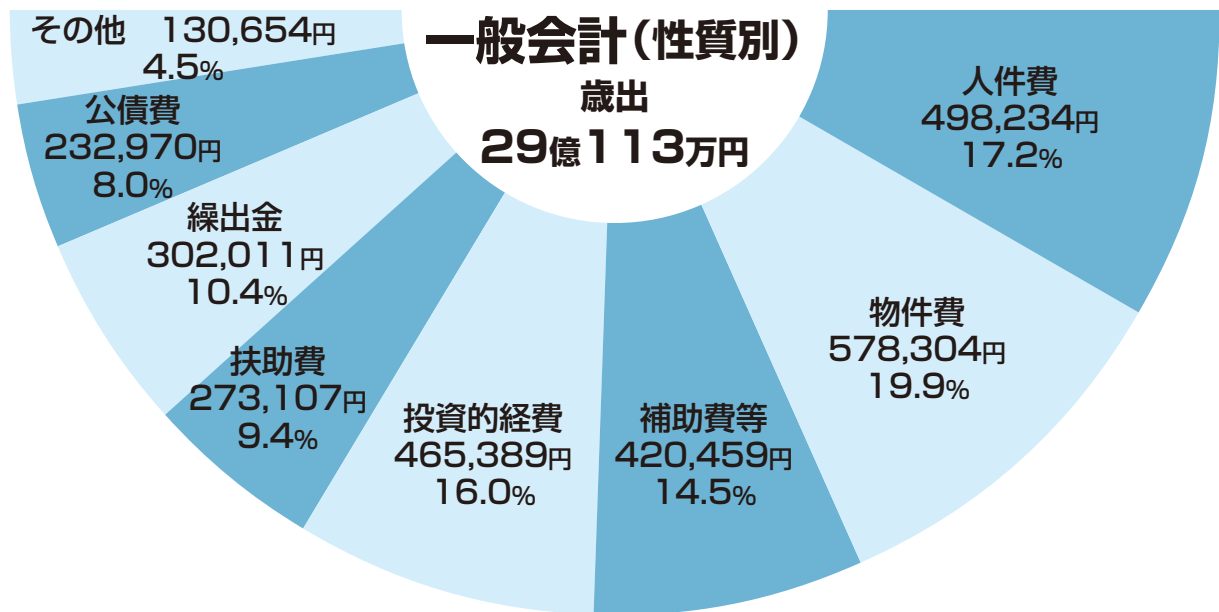
令和2年度 会計別当初予算額 全て原案可決 (全員賛成)

単位：千円

会計名	本年度予算額	前年度予算額	比較	比較
一般会計	2,901,128	3,076,204	△175,076	△5.7%
国民健康保険事業特別会計	436,987	423,363	13,624	3.2%
介護保険事業特別会計	451,159	405,493	45,666	11.3%
後期高齢者医療特別会計	87,915	81,732	6,183	7.6%
水道事業特別会計	55,119	41,237	13,882	33.7%
下水道事業特別会計	225,522	188,561	36,961	19.6%

令和2年度 第1回議会 3月定例会

3月6日(金) から11日(水) までの6日間



3月の定例会が、3月6日(金)から11日(水)までの6日間の会期で開催されました。

■条例

・村営川場牧場の設置及び管理に関する条例

川場牧場の敷地は水源となる森林を含み乱開発を防ぐ必要があり、村が農地を所有するために条例の制定をするもの。(全員賛成)

・川場村議会の議決に付すべき事件に関する条例

利根沼田地域が合同で実施をする定住自立圏形成協定を締結するにあたり議会の議決が必要であることから条例を制定したものの。(全員賛成)

(全員賛成)

・川場村の区の設置及び組織に関する条例の一部を改正する条例

地方公務員法の改正に伴い、区長が特別職非常勤職員から除外されたため一部改正するもの。今後は村と区長とで業務委託契約を結ぶこととなる。(全員賛成)

(全員賛成)

・川場村第1号会計年度任用職員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

役場の会計年度職員(パートタイム)の間外勤務報酬の算定基準が週単位から一日単位に変更されたことにより一部改正するもの。

の。

(全員賛成)

・川場村交通安全条例の一部を改正する条例

交通指導員に係る部分を一部改正するもの。(全員賛成)

(全員賛成)

・川場村職員定数条例の一部を改正する条例

教員等の職の廃止に伴い、定数の見直しを行ったことにより一部改正するもの。

(全員賛成)

・川場村税条例の一部を改正する条例

補正予算90万円を使い、地方税法と条例との表現の差異を解消するため税条例全体を見直しを行った事により一部改正するもの。(全員賛成)

(全員賛成)

・川場村国民健康保険税条例の一部を改正する条例

刑事施設等に収容された被保険者の保険税の減免適用時期を明確にするため一部改正するもの。(全員賛成)

(全員賛成)

・川場村印鑑条例の一部を改正する条例

成年被後見人及び非漢字圏の外国人住民の印鑑登録手続について一部改正するもの。(全員賛成)

(全員賛成)

・川場村小口資金融資促進条例の一部を改正する条例

小口資金を含む県制度融資に係る返済負担

軽減の特例措置を1年延長するため一部改正するもの。(全員賛成)

(全員賛成)

・川場村監査委員条例の一部を改正する条例

地方自治法の改正に伴い、監査委員は監査基準を策定し公表が義務づけられたことにより、条例事項を整理する必要があるため一部改正するもの。(全員賛成)

(全員賛成)

・川場村公平委員会設置条例を廃止する条例

令和2年4月1日より村の公平委員会がなくなるため条例を廃止するもの。(全員賛成)

(全員賛成)

・川場村交通指導員設置条例を廃止する条例

地方公務員法の改正に伴い、交通指導員が特別職非常勤職員から除外されたため一部改正するもの。今後は有償ボランティアとなる。(全員賛成)

(全員賛成)

■補正予算

・令和元年度川場村一般会計補正予算(第4号)

歳入歳出それぞれ1億6千916万4千円を減額し、総額を31億5千921万3千円としたもの。(全員賛成)

(全員賛成)

・令和元年度川場村国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)

歳入歳出それぞれ1千170万9千円を追加し、総額を4億4千546万9千円としたもの。
(全員賛成)

・令和元年度川場村介護保険事業特別会計補正予算(第2号)

歳入歳出それぞれ648万5千円を追加し、総額を4億5千504万5千円としたもの。
(全員賛成)

・令和元年川場村後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)

歳入歳出それぞれ611万7千円を追加し、総額を8千900万4千円としたもの。
(全員賛成)

・令和元年度川場村水道事業特別会計補正予算(第2号)

歳入歳出それぞれ2万2千円を追加し、総額を4千367万9千円としたもの。
(全員賛成)

・令和元年度川場村下水道事業特別会計補正予算(第2号)

歳入歳出それぞれ16万5千円を減額し、総額を1億9千156万5千円としたもの。
(全員賛成)

■その他

・群馬県市町村公平委員会の共同設置

県内市町村、一部事務組合及び広域連合が

効率的な公平委員会を運営するため共同設置するもの。
(全員賛成)

・村道路線の認定

立岩字十二山264番地から立岩字霜原316番地間を村道立岩十二山線とするもの。
(全員賛成)

・川場村スポーツ施設(川場村体育館、川場村テニスコート、川場村スポーツ公園)の指定管理者の指定

川場村スポーツ施設の指定管理者を株式会社田園プラザとするもの。
指定期間は、令和2年4月1日から令和7年3月31日まで
(全員賛成)

・川場村桐の木平キャンプ場の指定管理者の指定

桐の木平キャンプ場の指定管理者を株式会社モリの遊苑地とするもの。
指定期間は、令和2年4月1日から令和7年3月31日まで
(全員賛成)

・通所介護施設「川場村老人デイサービスセンター」の指定管理者の指定

川場村老人デイサービスセンターの指定管理者を社会福祉法人川場村社会福祉協議会とするもの。
指定期間は、令和2年4月1日から令和7年3月31日まで
(全員賛成)

みなさんからの

陳情

審査結果

番号	陳情者氏名	件名	紹介議員	付託委員会	審査結果
1	全日本年金者組合群馬県本部 執行委員長代行 女屋定俊 同利根支部支部長 林マツ	年金支給の隔月支給を 毎月支給に改める陳情		総務文 常委員 教任会	趣採 旨択
2	全日本年金者組合群馬県本部 執行委員長代行 女屋定俊 同利根支部支部長 林マツ	若い人も高齢者も安心で きる全額国庫負担の最低 保障年金制度創設を政府 に求める陳情		総務文 常委員 教任会	趣採 旨択



予算審査特別委員会を設置 各会計予算を徹底検証！

令和2年度会計の当初予算を審査するため、予算審査特別委員会を設置し、予算内容についてチェックしました。角田文雄委員長の下に行われた、主な質疑と答弁は次のとおりです。

令和2年度 川場村一般会計

歳入

【黒田委員】 森林環境譲与税は何に使っているか。

【むらじゅくり振興課長】 森林所有者区分の明確化及び森林管理の意向調査費用です。

【津久井委員】 関連ですが、森林環境譲与税は1人1千円を国税として徴収しますが、平成36年から課税されるといふことなのか。
【総務課長】 令和6年度から住民税に上乗せになります。

【黒田委員】 低所得者保険料軽減対象者の人数は。

【健康福祉課長】 第一段階、第二段階、第三段階とあり、第一階段

96人、第二段階68人、第三段階52人、合計216人です。

【津久井委員】 農地条件改善事業交付金の内容は。

【田園整備課長】 上宿原の土地改良事業を行うための交付金です。

【新木委員】 多面的機能支払交付金1千390万1千円、昨年より100万円ぐらい減っているが。

【田園整備課長】 実施していない地区があるためです。

【細谷委員】 千客万来支援事業県補助金500万円は何に使うか。

【むらじゅくり振興課長】 テニスコートナイター設備の修理代です。

【小菅委員】 松くい虫防除事業県補助金はどこまでの範囲をやってくれるのか。

【むらじゅくり振興課長】 民有林において、枯れかかっている樹木に

薬を注入する処理及び、枯れた樹木の伐倒処理を行います。

【角田委員】 新規就農総合支援事業県補助金は何件分か。

【田園整備課長】 新規就農者に対する補助金で、今年の11月で終了するものが1件、今後も継続するものが1件、あわせて2件になります。

【新木委員】 廃棄物買取り代金15万円はどついうものか。

【住民課長】 主に資源ごみで、業者が回収し販売して、村に入金するものです。

歳出

【新木委員】 借家料252万円の内訳は。

【総務課補佐】 3名分です。群馬県への派遣職員1名、後期高齢者連合への派遣職員1名、世田谷区からの派遣職員1名、計3名分です。

【黒田委員】 群馬県市町村振興協会魅力あるコミュニティ助成事業補助金の使途は。

【総務課長】 川場湯原地区で集会場の机、椅子を整備する予定です。



※ここに掲載されている質問は全体の中から抜粋した一部です。
※紙幅の都合や読みやすさなどを考慮し、質疑の文字数の省略、言い回しの調整などを行っています。

【新木委員】 防犯機能付電話用機器購入費補助金の電話はどんな機能なのか。

【総務課補佐】 機能は、電話がかかってくると、「この電話は録音されています」などのアナウンスを流して相手に注意喚起を与えるような機能です。村民が新しく購入した場合に2分の1補助、上限が5千円で5台分です。

【新木委員】 公有林火災保険料45万4千円の内容は。

【総務課長】 21世紀の森及び学校林です。

【黒田委員】 その他積立金の内容は。

【総務課長】 ほたかの里基金5千万円、森林環境譲与税基金1千万円、減債基金100万円、友好の森基金100万円、合わせて6千200万円です。

【黒田委員】 川場村ホームページの更新委託料の内容は。

【むじゅくくり振興課長】 現在使用しているものが7、8年経過しているため、全面的にリニューアルしてスマートフォンに対応するな

ど住民の利便性を向上したいと思っています。

【丸山委員】 通学定期購入補助金と、バス利用促進敬老割引補助金の利用者数は。

【むじゅくくり振興課長】 通学定期につきましては、令和元年度、49人利用されています。

敬老割引のバスカード利用については、前期で49枚です。参考に、平成30年度は前期が37枚、後期が67枚計104枚でした。

【黒田委員】 民間賃貸住宅の借地料補助金、それから、賃貸住宅家賃助成事業補助金と、川場村への移住支援事業補助金、この3点に關しての根拠を。

【むじゅくくり振興課補佐】 民間賃貸住宅借地料補助金は、民間賃貸住宅を3事業所が建てています。そちらの借地料について1平方メートルあたり150円を限度として補助しています。

民間賃貸住宅の家賃助成事業補助金は、ワンルームが現在4室で、6室増える予定です。戸建てものは4棟です。そちらの住宅につ

いて家賃の25%で、上限月額1万5千円補助するものです。

最後の川場村移住支援事業補助金は、東京23区等に5年以上在住していた者が、県のマッチングサイトに登録している企業に就職して村内に移住しますと、単身で60万円、家族で100万円の補助金が出ることとなります。こちらは、国、県の補助を受けて実施します。

【津久井委員】 高齢者AT踏み間違い防止ペダル整備費補助金と、高齢者運転免許証自主返納支援事業補助金、これに対して、何歳から適用されるのか。

【総務課長】 対象年齢は、65歳以上です。

【津久井委員】 どのように該当者、希望者に知らせるのか。

【総務課長】 まず、免許証の自主返納につきましては、広報かわば等でお知らせしています。そして、高齢者AT踏み間違いにつきましては、令和2年度事業ですので、これから広報いたします。

【黒田委員】 新たな移動手段導入支援事業で、お年寄りが何人べら

い利用して、反響は。

【健康福祉課長】 運行日数が38日ありました。1月6日から2月29日までで、予約者数が101人、輸送回数104回、1日平均2・66人、回数で2・74回、利用目的は、主に受診された方が37・8%、かわたんカフェに利用された方が18%、買い物、医療機関、銀行に行った方が12・6%。実、50人。有償でも利用したいかというアンケート調査の中で、76%の方がこれからもタクシーの半額くらいだったら利用したい、非常にありがたいというアンケート結果です。

【星野委員】 森の学校資料収集調査委託料は、どのような調査を委託しているか。

【むじゅくくり振興課長】 友好の森を中心に川場村の植生調査、動植物の調査及び希少動植物の情報を収集するものです。また、調査データをとりまとめ、森の学校で展示しています。

【星野委員】 農業塾及び里山塾の実施委託料で、直近の参加者は。

【むじゅくくり振興課補佐】 農業塾

は、年8回開催で参加者は20名ほどです。里山塾は、年7回開催で同じく20名ほどです。

【**新木委員**】 民間賃貸住宅借上料、昨年より100万円余り増額しているが、内容を。

【**むらづくり振興課補佐**】 地域おこし協力隊用の住宅の借上料で、令和2年度に2名増員する分です。

【**津久井委員**】 地域活性化交付金260万円、交付割合は。

【**むらづくり振興課補佐**】 各地区へ世帯数を基準として交付し、100世帯未満が20万円、1000世帯から2000世帯未満が40万円、2000世帯以上が60万円となっております。

【**津久井委員**】 健康増進費で、令和元年度の実績は、脳ドック、心臓ドック助成金ですが、45万円計上してあるが、実績は。

【**健康福祉課長**】 脳ドックが5人、心臓ドック1人です。

【**新木委員**】 水田ほ場画像解析業務委託38万5千円、どんな内容か。

【**田園整備課長**】 スマート農業はICTを活用した農業です。人工

衛星を活用し、水稻のたんぱく質、粗の状況、肥料状況が解析できるものです。近県で取り組んでいまずので、米農家の皆さんに波及できればと、今回新規で予算計上しました。

【**小菅委員**】 川場村農業団体の連絡協議会補助金、400万円計上されていますが、内訳は。

【**田園整備課長**】 農業団体連絡協議会の団体が19あります。補助金内訳は、団体補助金100万円、ビール処理を年4回で、280万円、フォークリフト借上料20万円です。

【**飯塚委員**】 地籍調査委託料、現在、どのくらい進んでいるのか。

【**田園整備課長**】 天神、門前は完了しています。その後、谷地Ⅰ、Ⅱと川場湯原Ⅰの調査が進みましたが、境界確認等で遅延が発生し、既に8年以上が経過し登記ができていない状況です。これを解消しないと富士山地区、また湯原Ⅱの登記が実施できませんので、現在、

解消するための事業を行っております。かなり時間を費やしますので、

新規事業には取り組めないのが現状です。

【**星野委員**】 川場村鳥獣捕獲奨励金212万円の内容は。

【**むらづくり振興課長**】 捕獲奨励金は、有害鳥獣を駆除した場合に支給されます。狩猟期間外に、有害駆除許可により駆除する場合、カラスが2千円、ハクビシンが1千円、アライグマが1千円、イノシシが4千円、シカが5千円、サルが6千円です。狩猟期間は、イノシシが1万円、ニホンジカが1万円、ハクビシンが5千円、アライグマが5千円、カラスが2千円です。

また、国の獣害対策協議会によりイノシシ、シカ、サルに関して1頭当たり8千円が交付されています。

【**黒田委員**】 後山整備事業委託料と、後山地域境界明確化業務とあるが、この2つに関連して、後山事業の新年度の計画はどのようなものか。

【**むらづくり振興課長**】 後山整備につきましては、毎年エリアを区

切つて、間伐、倒木等の処理を行っています。

来年度については、主に山頂から立岩側の斜面、生品方面までのエリアを計画しています。このほか後山の森林整備では、緑の県民税で竹林の整備、他の補助事業で松くい虫の処理などの事業を行っています。

境界明確化業務は、森林環境譲与税の中でも触れましたが、航空写真等で山の高低差を算出し、公図等を参考にしながら仮の境界線を引いた図面を作成する作業を行っています。

【**角田委員**】 猟銃所持免許取得補助金、現在、本村で猟銃の免許を所持している人数は。

【**むらづくり振興課長**】 16名です。

【**津久井委員**】 舗装補修等工事請負費1千120万円、どこを予定しているか。

【**田園整備課長補佐**】 村道富士山線の舗装補修工事を約500万円程度予定しています。残りの620万円につきましては、各地区か

らの要望、陳情等に対しまして、緊急性の高い順位から対応していきたいと思っております。

【津久井委員】 川場遊覧フライトヘリコプター借上料が計上されているが、対象者は。

【教育委員会事務局長】 3年に一度、中学生全員が対象です。



川場村上空遊覧

令和2年度 国民健康保険事業特別会計

【黒田委員】 川場村の中で生活習慣病はごつい状況で、何が一番心配か。

【健康福祉課参事】 最大医療費傷病名上位を申し上げます。1位は

癌です。2位が筋や骨格、3位が糖尿病、4位が精神病、5位は高血圧症となっております。

【飯塚委員】 川場村の国民健康保険税の見直しは何年頃に行つか。

【健康福祉課長】 国保税は、群馬県に納付金が不足してしまうようであればその都度見直します。

令和2年度 介護保険事業特別会計

【飯塚委員】 川場村の介護保険税の見直しは何年頃に行つか。

【健康福祉課参事】 介護保険は令和2年度に見直し、令和3年度から改正されます。

【角田委員】 要支援1、2、要介護1、2、3、4、5の該当者は。

【健康福祉課参事】 要支援1が12名、要支援2が28名、要介護1が52名、要介護2が30名、要介護3が32名、要介護4が28名、要介護5が29名、合計で211名です。

令和2年度 水道事業特別会計

【津久井委員】 水道使用料は前年度に比べて111万8千円減っています。昨年は、水道加入金が50万円だったのが40万円補正して90万円、加入者が増えているにもかかわらず使用料が減っているのはなぜか。

【田園整備課補佐】 水道使用料の減額要因ですが、各家庭の水道使用量が今年度に限っては非常に減っていること、また、大口利用者の使用量も激減していることで

【黒田委員】 公営企業法適用支援事業委託料の詳細な内容を。

【田園整備課補佐】 国からの指示により、公営企業会計におきまして

も、いわゆる一般企業が採用しております企業会計と同じく複式簿記にて経理せよという指示がありました。それに伴い、まず、来年度は資産台帳を作成する意向です。

【黒田委員】 令和6年度までに実施ということですが、この資産台

帳をつくるだけでこの最初の年の1千500万円もかかるのか。

【田園整備課補佐】 200万円程度は、基本計画を作成、残りの約1千300万円につきましては資産台帳の作成に充てたいと思います。

【黒田委員】 基本計画の段階で議会に報告はあるのか。

【田園整備課補佐】 必要に応じて報告いたします。

令和2年度 下水道事業特別会計予算

【津久井委員】 下水道使用料が前年度に比べて161万5千円増えています。水道料が減っているのに下水道料が増加した原因は。

【田園整備課補佐】 上下水道の予算につきましては過去3年間における予算、決算の状況により計上しています。下水道料金に比べ、水道料金の予算は増加率を多く見積もっていたため、下方修正しました。

【飯塚委員】 下水道の普及率は。 【田園整備課補佐】 約80%です。



新型コロナウイルス感染症対策について

黒田議員 利根沼田地域の現在状況と感染した患者に対応する病床数及び県内における感染症専門医療機関との連携体制はありますか。

村長 群馬県健康福祉部によると、病床数は非公開、感染症指定医療機関は県内12病院。利根沼田地域は1病院です。感染の疑いがある場合は、利根沼田保健福祉事務所へ連絡の上、指定医療機関で受診することになります。その後、万一感染が確認された場合は、指定医療機関から群馬県健康福祉部へ連絡が入り、利根沼田保健福祉事務所を通じて、感染者の所在地の市町村にも連絡が入るようになっていきます。

黒田議員 周知、情報伝達についてどのようになっていますか。

村長 川場村ホームページに随時掲載、必要であれば防災無線等を利用し、迅速に対応したいです。

黒田議員 観光施設での対応は。

村長 2月21日に川場スキー場・川場村観光協会・川場田園プラザ等には、村保健師同伴による個別指導及び情報共有の徹底等を指導しました。

黒田議員 学校・こども園・児童・デイサービス等の対応は。

村長 学校・こども園・児童クラブ・デイサービスセンターについて、厚生労働省・群馬県及び川場村のホームページ等からの情報収集を依頼。群馬県

からの情報提供があれば、その都度、村健康福祉課から各施設へ情報提供をします。

黒田議員 災害弱者・高齢者への対応は。

村長 村保健師・地域包括支援センター職員が相談対応を行っています。また、万一感染してしまった場合には、群馬県が中心となり、患者の追跡調査・感染経路の確認・健康調査・情報収集等が行われます。

黒田議員 感染症対策に必要な医薬品・その他物資の備蓄状況はどうなっていますか。

村長 マスクは、大人用350枚程度。ストックがある市町村は医療機関へ放出の協力依頼が来ています。

消毒液は、備蓄はほとんどありませんが、台所用漂白剤や、水道施設で使用している次亜塩素酸ナトリウムを希釈して消毒液をつくる方法があります。手消毒液は、洗浄除菌水生成装置が設置してある施設があるので、問題はありません。この生成装置は専用添加液1リットルで800リットルの除菌液が生成できます。

黒田議員 群馬県も群馬県新型コロナウイルス対策を基本に感染対策を行っているそうです。川場村の新型コロナウイルス等感染対策行動計画を見ると、現在の状態は国内感染期にあたり、村独自に、どんな対策が必要か計画されています。例えば要援護者など助けが欲しい村民に対して、村独自に何ができるかどのようにお考えでしょうか。

村長 インフルエンザと今回の新型コロナウイルスというのは、なかなか国のほうでも原因追及がまだできないという中で、対策がまだおこなわれています。群馬県内で感染者が発生をした場合は、緊急に県の指導を仰ぎながらやっていかなければならない。村は保健師に生活弱者の人たちの顔も見え把握はしています。緊急な状況には、対策本部の会議を開催して、早急に対応したいです。

黒田議員 W H O 言えば、家庭内での感染率は約80%となっています。新型コロナウイルス等感染症対策

子育て支援について

黒田議員 「川場村第二期子ども・子育て支援事業計画」についてお聞きします。

村長 第2期計画は、「地域における子育て支援の充実」「教育環境の整備」「母子保健施策母子保健施策の充実」「子ども・家庭の状況に応じた支援」「子どもや子育てを支える地域づくり」の5つ基本目標のもとに施策展開しています。次代を担う子供たちの健やかな成長と、その親が安心して子育てできる環境づくりを、行政と地域全体で強く推進していく決意です。

黒田議員 子育て世代包括支援センターの設置と地域子育て支援センター設置の検討はどうか。

村長 令和2年度末までにセンターを設置するために保健師を増員し、

策行動計画はあらゆる感染症に対応できる基本的な行動計画です。危機管理においては、計画や準備に関しては、悲観的に行って、実際それを使うときには楽観的に動くというのが危機管理の基本だそうです。改めて、村民は全員家族だと思いの中で、準備をしていたらいいと思います。

村長 担当課長が計画書に基づき準備を進めていると聞いています。村民の方には、できるだけ免疫力を高め、よく食事をとって、よく睡眠をとって、ウイルスが体の中に入らないように努めていただくことです。消毒液等は常にできる状況ですので、村民に配れる状況にはしていません。

設置に向けて準備を進めています。設置については地域子育て支援拠点事業専任の職員を充てる余裕がないことから、設置は見送っています。

こども園の自主事業として保育相談や園庭開放が行われ、やんちゃクラブや子育て教室、民生委員による子育てサロンなど子育て世代間への情報提供、支援はおおむね整っていると思います。

今後は、本村における子育て環境とニーズを検証しながら、地域と行政がつながる子育て支援を進めていきたいと考えます。

黒田議員 子育て支援など子供たちへの投資をするということは、川場村の未来に投資をするということだと思います。「子育てするなら川場村がいいよね」と言われるようになって欲しいと思います。



インフルエンザ予防接種費用の助成について

角田文雄議員

乳幼児を初め、子供たちは国で定めた予防接種法によりさまざまワクチンや予防注射などを接種し、健康で安心な生活を送っています。しかし、インフルエンザの予防接種については、法律の定めがなく、任意によるものです。小学校や中学校では、集団での生活が多く、インフルエンザの感染率が非常に高まり、学級閉鎖が毎年発生しているのが現状ではないでしょうか。

インフルエンザ予防接種ですが、生後6カ月以上、中学3年生以下の乳幼児・子供が中心になります。効果が高めるために2回の接種が必要であり、接種費用も医療機関によって約7千円から8千円くらいとなっています。子供が多い家庭では、経費の負担増により予防接種を受けたくても受けることができないのが現状ではないでしょうか。

村民全体を対象と考えればよいのですが、まずは抵抗力の弱い乳幼児から中学生及びその保護者も含め、インフルエンザの発症・感染を防ぎたいものです。利根郡の町村並みに接種費用の一部を川場

村でも負担してくださるよう、村長の見解をお伺いします。

村長

川場村では、生まれた子供たちが健やかに育つようにと、子育てに対し総合的に支援するため、子育て支援金を平成22年度より出生時に第一子10万円、第二子20万円、第三子以降30万円を支給し、加えて小・中学校入學時にそれぞれ5万円を支給しています。

この子育て支援金は、その都度、役場の窓口申請し、補助金交付を受ける等の手間を省くことと、事務の効率化を図るため、一時金での支給としています。

また、母子手帳交付時には、子育て支援金等に関するパンフレットを配布し、インフルエンザの予防接種等、子育てにお役立ていただくよう説明をしています。なお、本村の子育て支援金については、周辺市町村からも手厚い支援と評価をいただいていることをご理解いただければありがたいと思います。

角田文雄議員

確かに川場村は、子育て支援では、他の町村から見れば力を入れてい

ると思います。しかしながら、2019年1月から12月までの出生時の支援金の受給者は10人、入学祝い金は60人前後です。

この子育て支援金支給条例は、子供たちが健やかに成長し、地域の活性化に寄与することを目的としたものです。インフルエンザの予防対策を強調するのであれば、条例を一部改正して対応すること、村民は理解すると思えます。村内でのインフルエンザ予防接種対象者は生後6カ月から中学生までで約400人、保護者を含めると600人程度になると思えます。川場の子供みんなが元気であれば村も元気になり、医療費の抑制にもつながると思います。そこで、再度村長にインフルエンザ予防に対する考え方を伺いします。

村長

ご指摘のように、そういったことで抑制等もありますが、先ほど申しましたように、子育て支援金、また小・中学校の入学時等に5万円を支給していますし、パンフレット等にもインフルエンザ等にお役立てをいただきたいと記載もしています。村民の

角田文雄議員

利根郡の昭和村、みなかみ町、片品村、既にこの年齢層対象に公費の負担をしています。その中でも片品村は、子供たちの保護者までが補助対象になっているようです。川場村の子供たちが健康で明るく育ち、川場の宝となるよう、インフルエンザ予防接種実施者に対して前向きに検討していただき、公費負担の実現がかないますようお願いして質問を終わります。

周知等も必要ですが、各町村はそういった子育て支援金が川場村と比べると非常に低く、このような状況の中でインフルエンザ等の助成金も行なっていることですので、今後、近隣市町村等々の支援状況も見極めながら検討してまいりたいです。



議会議員県外視察研修

～行政視察報告～

◆ 視察の期日

令和2年2月5日(水)～7日(金)

◆ 視察の場所

- ① 京都市 大原小中学校
- ② 大阪府熊取町



大原小中学校（大原学院）

京都市の大原小中学校（大原学院）において「小中一貫教育の取組等」、大阪府熊取町において「図書館の運営方法等」について全議員で視察研修を行いました。

■ 大原小中学校（大原学院）

京都市の中心から北東へ15キロ、山々に囲まれた盆地状の大原地区も少子化の問題から、他の学校と統合するとの方針が出されておりましたが、保護者及び大原地区の自治会が立ち上がり、学校の廃校を避けたいと小中一貫校として存続させることを強く求めた。その結果、平成21年に地域ぐるみ、学校ぐるみの小中一貫校として京都大原学院が誕生した。教育においては、「9年間を通して「思いやりをもち自ら汗をかける子」「科学的思考のできる子」「コミュニケーション力を発揮できる子」を育てていくことを目指している。

京都大原学院を視察して、先生同士の関わり方、先生と子供たちの関わり方、地域住民との関わり方は、川場村が目指す教育のあり方であると感じた。

■ 熊取図書館

平成6年11月に開館となった熊取図書館は、住民の要望から始まり4年もの時間をかけて、住民参加型の図書館づくりをしてきた。蔵書冊数は36万6千151冊で町の図書館とは思えないくらい規模である。熊取図書館は開設後も、図書館協議会を設置し、本の貸出しだけではなく、図書館の運営のあり方について広く住民からの意見を取り入れた提言をしている。現在では、図書館が自主活動の支援及び地域連携の場となっている。川場村においても図書館の建設が考えられているが、熊取図書館ほどの規模は必要ではないが、住民が参加できる運営方法は大いに参考となった。とくに「住民とともにつくる図書館」として住民団体との協働事業を図書館計画等に位置づけていることは素晴らしいと感じた。



熊取図書館

議会議員県外視察研修



小菅村役場前

～行政視察報告～

◆ 視察の期日

令和2年2月25日(火)

◆ 視察の場所

山梨県小菅村

◆ 視察の目的

移住定住者対策及び
起業支援助成について

人口わずか700人程度の村が「奇跡のむら」と呼ばれているのは、近年人口が増加しているからである。つまり移住者が多いという事になる。平成29年3月に村づくり会社「株式会社源」を設立するなど地方創生に向けた数々の取り組みを村ぐるみで行ってきた。その結果、観光客は約8万人から18万人の2.2倍に増加、22世帯75人の子育て世代が移住してきたことで、小学校の児童数が23人から36人に増加、さらに新たなベンチャー企業が5社も誕生しているという。また、平成30年には、新たな宿泊施設を設立するため新会社「株式会社EDGE」を設立し、「NIPPONIA小菅 源流の村」が開業した。

江戸末期から続く築150年超の地元名士の邸宅を1億円かけて改修し、古き良きものと新しいものとの融合が素晴らしい宿泊施設であったが、村からの支出はないという。川場村議会としても小菅村の取り組みを参考にし、川場村の人口減少に歯止めがかけられるような取り組みを考えていきたい。

議会の動き

2月

- 3日 定住自立圏構想に係る利根郡町村議会議員への説明会
- 5日 議員県外視察研修(京都・大阪) ～7日
- 8日 芸能祭
- 12日 利根沼田地域県政懇談会
老人クラブ連合会輪投げ大会
- 13日 沼田市外2箇村清掃施設組合議会事前説明
- 17日 利根郡町村議会議長会定例会
利根沼田広域圏整備組合定例議員協議会
利根学校組合議会議員協議会
川場村建設業協会発会式及び懇親会
- 19日 群馬県町村議会議長会定期総会
- 21日 議会運営委員会
- 22日 前教育長関谷氏瑞宝双方賞祝賀会
- 25日 議員県外行政視察(山梨県小菅村)
一日村長体験懇親会
- 26日 利根沼田広域圏整備組合議会定例会
利根学校組合議会定例会
沼田市外2箇村清掃施設組合議会定例会
第2回川場村ふれあい学習推進協議会
- 27日 議会全員協議会
川場村上下水道運営協議会
川場村介護保険運営協議会
川場村国民健康保険運営協議会
- 28日 老人クラブ連合会スマイルボウリング大会
川場村美しいむらづくり審議会

3月

- 6日 第1回議会定例会(初日)
予算審査特別委員会
総務文教常任委員会
- 9日 予算審査特別委員会
- 11日 第1回議会定例会(最終日)
議会広報特別委員会
- 13日 中学校卒業式
川場村農業団体連絡協議会表彰式
- 17日 ぬまた聖苑焼骨焼灰供養
- 18日 川場村社会福祉協議会第4回理事会
- 25日 小学校卒業式
- 26日 川場村社会福祉協議会評議員会
利根沼田広域圏整備組合監査
- 27日 かわば森のこども園卒園式

4月

- 1日 辞令交付式
教職員辞令交付式
- 7日 小学校入学式
中学校入学式
- 10日 老人クラブ連合会総会(中止)
川場村互助会総会(中止)
- 15日 新型コロナウイルス感染症対策における説明会
- 16日 川場村婦人会総会(中止)
- 20日 利根郡町村議会議長会定例会
利根地方総合開発協議会理事会
利根沼田広域圏振興整備組合議員協議会
- 27日 川場村体育協会総会(中止)

群馬県町村議会議長会定期総会

開催日：令和2年2月19日（水）

場 所：群馬県市町村会館 大会議室

定期総会では、全国町村議会議長会の町村表彰及び自治功労者表彰の伝達、群馬県町村議会議長会の自治功労者表彰、群馬県知事感謝状の贈呈が行われました。また、令和元年度決算並びに事業報告、令和2年度予算並びに事業計画がそれぞれ承認されました。

全員協議会

令和2年2月27日（木）午前9時から、役場2階特別委員会室において全員協議会を開催し、村長・副村長・教育長・担当課長から、下記事項について詳しい説明を受けるとともに質疑が行われました。

1. 令和2年度当初予算の概要について

2. 群馬県市町村公平委員会の共同設置について

各市町村で設置されていた公平委員会を共同設置することで運営の充実を図る。

3. 川場村営牧場及び管理に関する条例の制定について

水源地の確保が目的であるため、牛を放牧する予定はまだない。
条例がないと村が牧場の土地を取得することができないため、条例を制定する。

4. 第2期川場村まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定について

今年度で第1期の総合戦略が終了となるが、国が引き続き第2期の総合戦略として5年間実施するとの閣議決定を受け、川場村においても第2期の総合戦略事業を実施していきたい。事業内容は、基本的には第1期で実施した事業を継続していく一方、国の総合戦略に盛り込まれた4つの基本目標を取り入れ、新規事業にも積極的に取り組んでいきたい。

5. 川場村拠点構想の推進について

6. 利根郡信用金庫と川場村との地域経済活性化に関する連携協定について

地域に根ざした信用金庫であるので、地域社会づくりに貢献していきたいと利根郡信用金庫から申し出があった。

連携の目的

産業振興の分野において相互の交流及び知識・機能・情報等の活用を図ることにより活力ある地域社会づくり、地域経済の発展を図る。

連携事項

1. 起業・創業（第二創業を含む）支援に関する事
2. 事業承継支援に関する事
3. 販路拡大支援に関する事
4. 企業誘致に関する事
5. その他、地域経済発展のための事業者支援に関する事

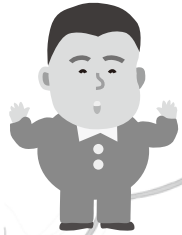
7. 川場村議会の議決に付すべき事件に関する条例の制定について

8. 川場村内聖火ルートについて

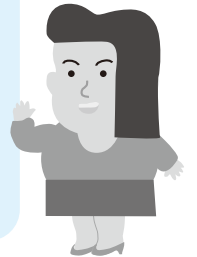
村や議会の こんなこと あんなこと

大きなことも小さなことも、わかりやすく平易にご説明します。

計画地は村営上宿原土地改良事業による2.3haがあてられます。武道館南側の村道谷地生品線沿線です。



「川場村拠点構想」ってどんなこと？
全体像を知りたいな。



本村は100年先を見据えた自主自立の村づくりを目指しています。都市と農村の交流をさらに進めて「関係人口」の拡大を図り、持続的な経済・文化発展の基盤を整備します。

また、村有施設の老朽化対策および災害・有事等への備えも考えています。

これらにより、本村独自の新産業創造と、地域そのものに特化した地域経済を活性させ、循環型社会を礎とした「田園理想郷」の実現を図ります。

● 計画されている施設

● 役場・災害支援拠点施設エリア

現在の庁舎は建設から46年が経過して老朽化が著しく、耐震基準も満たしていません。新たに災害時の対策本部機能を備え、

いろいろほ施設ができるんだ



村民の利便性を図る新庁舎として移転整備します。

● 交流施設エリア

新たな村の情報発信施設として「交流ホール」を整備します。川場村には年間230万人以上の観光客や交流者が訪れます。既存施設では対応できない研修、物産展等にも利用可能となり、災害時の村民避難場所としても想定されます。

「地産地消キッチン」は、食を通じた村の資源である農業の情報発信を行います。村の農産物を使用した料理体験や、飲食店の創業支援のためのデモンストレーションなどに利用されます。

● 産学官等施設エリア

〔研究機関サテライト〕
村の環境や資源の調査・研究を進めるほか、農林漁業等の研究を通じて情報交流を行います。

〔大学サテライト〕

村では現在、3大学と包括的な協力協定を締結し、村内で農業や林業、地域づくりなどの学習やフィールドワーク、その他さまざまな交流事業が展開されていますが、さらに新たな活動の広がりが期待されます。村民への講座や

交流会を通じ、活動成果の、村への還元を図ります。

〔創業支援施設〕

村を離れた若者や都会に住む人々の移住・定住の促進を図るため、村内での起業や創業支援施設として整備します。

〔農業温室・管理棟〕

村の農業発展のため、新しい付加価値を持った農作物研究等を行う施設です。農家の所得向上や農業後継者の確保などが目的です。

〔自然エネルギー施設〕

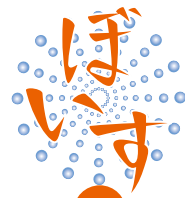
敷地内施設への自然エネルギー供給により、エネルギー自給率を高めます。災害時には避難施設として使用される各施設へ電気・暖房等の供給源として機能します。また、その仕組みを可視化して環境学習にも役立てています。

★ 整備期間

令和2年度から令和8年度までの7年間です。役場庁舎や災害支援拠点施設など、優先度の高い施設から進めていきます。

★ 事業規模

約37億円を見込み、国や県などの有利な交付金や起債を財源とします。



4

自然を求めて川場へ

英語力を活かしたい

富澤弘親さん(46) 田園プラザ川場社員

富澤さんは高崎市出身。平成29年10月、川場村初の地域おこし協力隊員として採用され、2年半にわたって尽力してきた。

村づくり振興課でふるさと納税の仕事に携わったのを皮切りに、オリンピックのホストタウン調印式では村長に同行して世田谷区へ赴いた。その後は森のいちご園、むらづくり振興課、観光協会、田園プラザなどで働いてきた。そして今年3月、2年半にわたる協力隊の任務を終えた。

榛名町の小学校を卒業後単身で渡米。カリフォルニアのサウスウエスタンアカデミーで学



んだ。ホストタウンの調印式で村長に同行したのも、英語力を買われてのことだった。

卒業後はアメリカの企業に就職した。その会社が東京支社を設立したのを機に、11年間暮らしたアメリカから帰国した。その後いくつかの仕事をを経て協力隊にいたった。

「川場村の寒さには驚きました。村へ移住した翌年には水道管が破裂しました。でも、その反面、夏は涼しくて快適ですけれど」。

村の規模が小さい割には活気があると感じたという。田園プラザをはじめ、優れた施設がたくさんあることに加え、ふるさと納税では村内産品を返礼品として使い、りんごや米など、素晴らしい名産品や特産品がたくさんあるからだという。

趣味はスノーボード。十代後半から始め、スポンサー付きで大会に出場したこともある。遠のいた時期もあったが、川場へ来てからは毎年、川場スキー場の通年券を買って楽しんでる。帰りは村内の日帰り温泉で温まる。

今年4月、田園プラザ川場の正社員に採用された。これからの展望を訊かれると、早く一人前になって、田園プラザの大事な人材になれるようにがんばります、と意気込んだ。

お知らせ

議会を傍聴してみませんか



次回定例会は6月上旬です
むずかしい手続きなどは不要です。傍聴人入口で名前と住所を記入していただくだけです。

問 川場村役場 議会事務局
52-2111

「川場村議会会議録」を川場村図書室で閲覧できます。お気軽にご覧ください。



編集後記

桜も咲き、小学校・中学校の入学、農家は作付けの時期とこの季節は、大きく動き出します。川場の宝でもある、子供たちは入学を機に元気に育ち、成長する事を願っています。村民の方においては健康管理を兼ねて、農業の米づくりや野菜づくりに頑張っていたいただきたい。議会としても村民の為に頑張ります。

議会広報誌も村民の皆様にあされる広報誌づくりを目指して頑張っております。川場村や議会の状況を村民の方に伝え、村民の声を聞かせていただき、より一層の広報誌、作成に編集委員一同邁進してまいります。
(編集委員 細谷市衛)

議会広報編集委員

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 新木 敏郎 |
| 副委員長 | 星野 孝之 |
| 委員 | 角田 文雄 |
| 委員 | 細谷 市衛 |
| 委員 | 飯塚 貞次 |
| 委員 | 小菅 秋雄 |